



未詳芝眉くも益所清
 穆之所儀を大慶人此より定
 此是部同を好半質て儀恐
 懼に金を所しころも儀十
 餘年よりあり

南朝の
 跡に就きて一常の注意

作れしもの去十六年を縣下我
 渡に村常思度てや修験職古来
 ずもの日記款所載しよ一傳聞
 作れし同亦一集し古記款一覽
 儀依頼作れし固く拒絶し
 て承諾されしは下りて止郡
 吏村吏等し力と務めて漸く

得一覽、兼上皇授書式上皇宣録
 記波丘録記白山録記等 長慶帝
 而傳るるは、卷字及詠歌言數十有
 為之せるは、何れも皆古なるもの

て、只る年以前の物かとありし
 其に記載すべしもの、此當時の口

記即古方記付新葉其本據云に大
 平記花受三代記細く言の語と
 と異同有之と云同所、地所口碑
 及時傳方

之而陸基、ソリ、ソリ、思案候右し次
 着台先、般以來、其、所、入、數回上申、
 仕置し、為、而、年、考、し、一、脚、も、名、候

可中、持、ま、り、右、古、記、款、指、板、上
 年、是、所、左、右、方、所、採、擇、す、り、
 之、の、所、内、之、所、局、に、於、て、
 其、之、を、下、り、し、事、息、し、む、を、
 一、番、細、く、調、書、す、る、事、出、方、所、命、人、と、
 ら、れ、ぬ、し、早、速、に、是、上、り、せ、し、

西州傳之

明治九年七月二十日

外 啄 二 月 廿 日 印

修史局長
 東野先生 閣下



未拜芝眉くも益所清

穆之所儀多々慶く然るも交

然其部間を想せり算之儀恐

懼之至多ししころも儀十

餘年よりしり 南相子

踏く軌きてい常し注意 穿鑿を

仕女しあひ去十六年市縣下我

漢江村常思度々り修談職古来

よりの日記歎所飛しよし傳聞

仕女同あふ来し古日記一覽

之儀依頼仕女固く拒絶し

て承諾せしむるを得止郡

吏村吏等し力と藉りて漸く

得一算、まよ上皇墳墓式上皇皇縁

記波丘縁記白山縁記 長慶帝

而諱をく、楚字及詠歌等數十有

為之せるに何れも皆古なるもの

て、四百年以前の物のとをりし

其記載す、可のものに當時、曰

記品古南方紀行新葉其本撰書に大

平記に定まら代記細く要記等の諸書

と異同有之し、同可く、地所以碑



記波丘綠記白山緑記 兼 長庚序

而律の之く一 楚字及詠歌等數十卷

有之せるに何れも皆古なるもの

て何る年以前の物かとすまひし

其記載すべし可のものの當時の日

記即古南方紀付新羅古本撰書に大

平記花堂之代記細く要記等の諸書

と異同有之れども同所一処所以碑

及時勢方 正

之而陸基よりりりる事案候右に次

弟台先般以来其の所一數回上申

仕置し為而集考し一助もたぬ

可申書多し右左記數指板に上

申及所左右の而撰擇すよりり

之のの所所之の所局に於て 定地即撰

書之を下りたり幸甚に心さるる若

し委細に調書の差出方所命人

らゆめし早速に是上り代

此の撰撰之

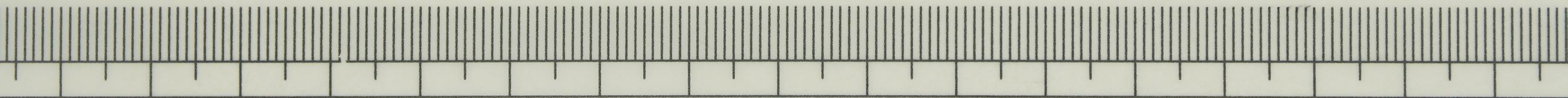
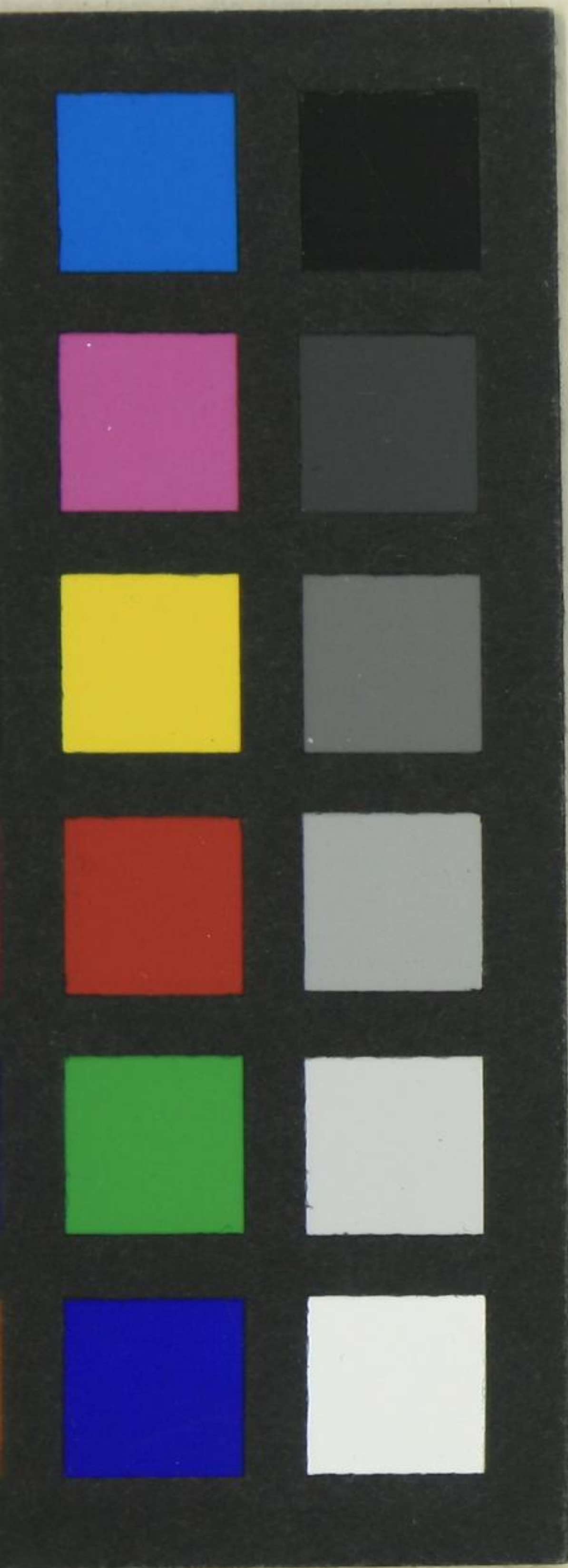
明治九年七月廿四日 青森縣士族

外 啄 二 頁

修史局長

東野先生

頓首



75

80

85

9